

第 1 章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「食育基本法」(平成17年(2005年)7月施行)では、「食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置付けられています。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることを推進するとして、令和3年度(2021年度)に「第4次食育推進基本計画」が策定されました。

世帯構造や社会環境等が変化し、ライフスタイルや価値観が多様化する中で、食生活や食を取り巻く環境が変化し、不規則な食事や栄養素の偏りなどによる生活習慣病の発症などの問題が顕在化しています。また、農業の振興による食料自給率の向上や環境保全のための食品ロスの削減など持続可能な食について、一人ひとりの取組が重要となってきました。

本市では、食育基本法の目的・理念をふまえ、同法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として、平成21年(2009年)5月に「北九州市食育推進計画」、平成26年(2014年)3月に「第二次北九州市食育推進計画」、令和元年(2019年)5月に「第三次北九州市食育推進計画」を策定しました。

第三次計画では、「家庭や地域、関係機関等と連携して食育を推進し、市民一人ひとりが、食育に関心を持ち健全な食生活を実践することによって、健康な心身と豊かな人間性を育み、生

涯にわたって生き生きと暮らすことができる社会の実現を目指す」を基本理念とし、「北九州の豊かな未来に向けて 食べて健康!みんなで実践!」をスローガンにかかげ、健康で生き生きとした食生活の実践や、食にまつわる人材や組織の育成、体制の整備などの社会環境の整備、地産地消の推進や食品ロスの削減、食品衛生などに関する情報の発信などによる生産から消費までの食の循環と食の安全・安心の取組を、関係者との連携・協力により進めてきました。

温暖化の進行による気候変動や新型コロナウイルス感染拡大が市民の食生活へ大きな影響を及ぼす中で、以前にも増して食品選択における環境への配慮や、健康管理への意識も高まっているなど、一定の成果が得られています。

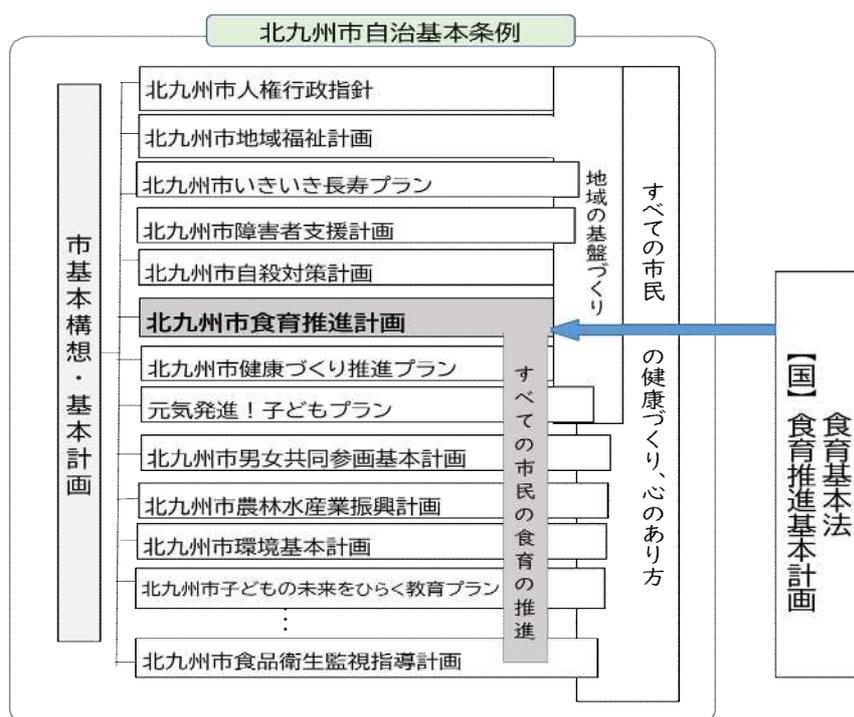
本計画は、食を取り巻く現状と課題について整理を行い、市民一人ひとりが食への関心と理解を深め、健康的な食生活を実践することで、生涯にわたって健康で心豊かに暮らすことができる社会が実現できるよう、食育を総合的かつ計画的に推進するために策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来にわたる健康で文化的な国民の生活と豊かで活力ある社会の実現に寄与することを目的とした食育基本法第18条第1項に基づく「市町村食育推進計画」です。

北九州市の基本構想・基本計画に基づく部門別計画で、その他の本市の関連計画等と整合性を図りながら総合的に推進します。

また、食育を通して、健全な食生活の実現や豊かな食文化の継承、食品ロス削減などにより、持続可能な世界を実現するための2030年までの世界の開発目標「SDGs」の達成に向けて取り組んでいきます。



3 計画の期間

本計画は、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間の計画とします。

年度	平成												令和											
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
国計画	食育推進基本計画					第2次食育推進基本計画					第3次食育推進基本計画					第4次食育推進基本計画								
市計画	北九州市食育推進計画					第二次北九州市食育推進計画					第三次北九州市食育推進計画					第四次北九州市食育推進計画								

SDGsと食育

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで、すべての加盟国(193カ国)が採択した17のゴール、169のターゲットに取り組む2030年度までの世界の開発目標です。

SDGsの目標には、「目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」などの食育と関係が深い目標があります。

東京栄養サミット2021では、健康的な食事の推進と持続可能な食料システムの構築などをはじめとしたコミットメントが宣言されました。

(目標内容は外務省仮訳)

